

技術概要書（様式）

※別紙2

技術分類	安全・防災 維持管理 環境 コスト ICT 品質 (該当分類に○を付記)		
技術名称	坂町および東広島市における災害廃棄物処理	担当部署	土木事業総轄本部 環境エンジニアリング本部
NETIS登録番号	なし	担当者	花木 陽人
社名等	(株) 鴻池組	電話番号	06-6245-6589
技術の概要	<p>1. 技術開発の背景及び契機</p> <p>弊社では産廃特措法に基づく特定支障除去等事業を、全18件中6件手がけ、混合廃棄物の分別処理技術に関わるノウハウを蓄積してきました。東日本大震災においては、この技術を応用し、宮城県多賀城市ほか4箇所での災害廃棄物の処理を実施し、災害廃棄物の処理技術として確立させました。</p> <p>近年、地球規模の気候変動の影響もあり、我が国では台風や大雨による災害が頻発しています。平成30年7月豪雨では、西日本を中心に広い範囲で河川の氾濫、浸水、土砂災害などが発生し、多くの人命が失われる甚大な被害をもたらされました。弊社では、被災した広島県坂町および同県東広島市において災害廃棄物の処理を実施し、無事完了させました。</p> <p>2. 技術の内容</p> <p>●広島県坂町 平成30年7月豪雨により坂町で発生した災害廃棄物について、北新地グラウンド内の二次仮置場において、搬入物の選別、処理施設への搬入・処分を広島県の外部委託により実施しました。解体残渣（廃棄物混じり土砂）の選別にはトロンメルバケット（写真1）および手選別ベルトコンベア（写真2）を使用しました。また、ガレキ混じり土砂の選別時には、中性域、無発熱、低粉じん、改質効果が即時に発揮される選別助剤（写真3）を使用することにより、安全かつ効率的に処理を行いました。</p> <p>●広島県東広島市 平成30年7月豪雨により東広島市で発生した災害廃棄物について、賀茂環境センター内の二次仮置場において搬入物の選別、処理施設への搬入・処分、一次仮置場から二次仮置場へのガレキ混じり土砂の運搬を実施しました。二次仮置場では大型の仮設テント（写真4）を設置し、テント内で自走式振動スクリーンを使用したガレキ混じり土砂の選別（写真5）を実施しました。</p> <p>3. 技術の効果</p> <p>●広島県坂町 トロンメルバケットと手選別ベルトコンベアを併用することで比較的小規模な設備で迅速な処理が可能になりました。</p> <p>●広島県東広島市 仮設テントを設置することで周辺環境への影響を抑えるとともに、雨天時においても安定した処理を行うことが可能になりました。</p> <p>4. 技術の適用範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> ・豪雨や台風に起因する河川の氾濫、浸水、土砂災害により発生した災害廃棄物のほか、地震や津波など様々な要因により発生した災害廃棄物に対応可能です。 ・選別助剤は、災害に起因する廃棄物混じり土砂のほか、不法投棄廃棄物や、既存インフラの更新時に遭遇する埋立廃棄物などに適用が可能です。 <p>5. 活用実績</p> <p>国の機関 0 件（九州 0件、九州以外 0件） 自治体 11 件（九州 1件、九州以外 10件） 民間 0 件（九州 0件、九州以外 0件）</p>		

6. 写真・図・表



写真1 トロンメルバケットによる選別



写真2 手選別ベルトコンベアによる選別



写真3 選別助剤(左:液体タイプ、右:粉体タイプ)



写真4 仮置場全景(写真奥:大型仮設テント)



写真5 自走式振動スクリーンによる選別